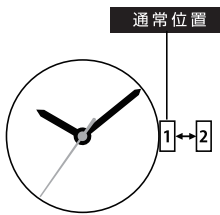


# POLICE

## PL.14211 SERIES INSTRUCTION MANUAL

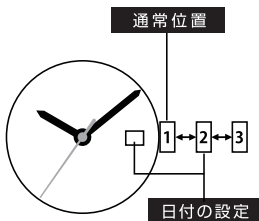
### 時刻の設定について



#### 時刻の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時分針を正しい時刻にセットします。
3. リュウズを元の位置まで押し戻します。

### 時刻の設定について(カレンダー付きの場合)



#### 時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時分針を正しい時刻にセットします。
3. リュウズを元の位置まで押し戻します。

#### 日付の設定

- ☞ 反時計回りの方向に回す。  
※午後9時から翌朝3時までの間は日付を合わせないでください。

### 防水機能について

**3 ATM** 日常生活での汗や洗顔のときの水滴、軽い降雨などで一時的にかかる水滴に耐えられるものですが、水道からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどでのご使用は避けてください。  
ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

**10 ATM** 水仕事やスキューバーダイビング(素もぐりを含む)以外のマリンスポーツに耐える構造ですが、ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

### 防水機能について

リュウズは常に通常位置に設定してください。  
ねじ込み式リュウズは完全に閉めた状態で着用してください。

水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼル回転させるなどの動作は行わないでください。  
また時計が塩水に浸かった場合は使用後、必ず真水ですすいでください。  
風呂、サウナ内での着用、及び放置はお避けください。  
高温と湿度(水分)が組み合わさることにより防水機能に支障が生じる場合があります。

### 注意

時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部より低い温度のときは、ガラスの内側がくもることがあります。一時的なくもりの場合は支障ありませんが、長時間くもりが消えない場合はそのまま放置をせず、ご購入店へご相談ください。  
濡れた手、または水中でのリュウズ操作による浸水や防水性能を超えた水圧による浸水は、保障期間内の場合でも有償修理となります。防水性能は、あくまでも目安です。  
表示してある状況下であっても振動・運動によって水圧が付加され、耐用気圧を超えることがあります。このような場合は、故障・損傷の原因となりますので充分にご注意ください。  
水中および時計や手に水分がついた状態でリュウズの操作を行うと、時計内部に水(湿気)が入る原因になります。  
ご使用の際は、リュウズが「通常使用ポジション」にあることを必ずご確認ください。  
リュウズが他のポジションにあると防水性が保たれませんのでご注意ください。